

【 北海道のグローバル戦略について 】令和4年10月3日（月）予算特別

一 北海道のグローバル戦略について

知事は、昨今の国際情勢等を踏まえた北海道グローバル戦略に関する我が会派の質問に対し、『本道との地理的、歴史的関係も踏まえた状況変化を見極め、グローバル戦略の見直しも視野に入れながら、関連施策を展開していく』旨、答弁しております。

そこで、以下、北海道グローバル戦略の今後の展開等について、伺ってまいります。

(一) ロシアによるウクライナ侵略の影響について

ロシアとは、平和条約交渉や北方領土、漁業交渉などで長い交渉と交流の歴史を有していますが、2月24日から始まったロシアによるウクライナへの侵略は、欧米諸国や我が国などからの強い反発と強力な経済制裁を招き、国際的な秩序や経済に深刻な打撃を今も与え続けています。

道は、こうしたロシアによるウクライナ侵略とその後の経済制裁やロシアによる反発等が北海道のグローバル戦略にどのような影響を与えているのか伺います。

(答弁：国際課長 早川 由世)

・本道とロシアは、地理的、歴史的に関係が深く、極東地域

は隣接地域として、地理的な近さや豊かな水産資源等を背景に古くから活発な交易や交流が続けられてきた歴史がある。

- ・ロシアによるウクライナへの侵略により、ロシアとの交流事業はもとより、燃料・食品価格の高騰による道民の皆様のご生活や農業・水産業といった道内産業に大きな影響が生じている。
- ・こうした影響が長期化している状況などを踏まえ、グローバル戦略におけるリスクマネジメントを図る観点から庁内連携会議での情報共有を図るとともに、市町村等との情報交換や企業からの相談への対応などに取り組んでいるが、これまで以上に国や関係団体と一層の連携を図りながら対応していくことが重要と認識。

(二) 東アジアにおける緊張の高まりについて

近年、急速に経済力をつけてきた中国が一帶一路構想などを打ち出し、政治的・軍事的な勢力を拡大する動きを強めており、こうした動きに米国をはじめとする西側諸国が警戒感を強めていましたが、ロシアによるウクライナ侵略を契

機として、台湾など東アジア地域における中国と周辺諸国や米国などとの溝が急速に深まっています。

最近の東アジアにおける緊張の高まりが北海道のグローバル戦略にどのような影響を与えているのか伺います。

(答弁：国際課長 早川由世)

- ・グローバル戦略に基づき、地理的優位性なども踏まえ、アジア地域において、経済交流、外国人材の受入、青少年交流や文化、スポーツ交流など幅広い分野で活発的な交流に取り組んでいる。
- ・新型コロナウイルス感染症の広がりによる影響はもとより、大規模な軍事演習や北朝鮮による弾道ミサイルの発射といった東アジア地域における緊張の高まりなどにより、道内経済や文化、スポーツ等の交流への更なる影響が懸念。
- ・道では、影響の顕在化に備えていくため、東アジア地域の情勢等を注視しながら、道内企業や関係団体等へのリスク関連情報の提供やリスクへの対応を学ぶ勉強会など、これまで以上にリスクマネジメントの観点から状況の変化に応じた対応が必要と認識。

(三) グローバルリスクへの対応について

道は、グローバル戦略の中で海外展開・交流におけるリスクマネジメントについて一章を割り当て、リスク意識の喚起を図っていますが、これは、テロや感染症、政情不安といったレベルのリスクを想定しており、個々の企業や市町村などが海外事業展開や交流事業などを進める際のリスク管理に留意するよう促すものです。

現在のように、グローバルリスクが文字どおり世界規模で具体化し先鋭化した状況を想定しているものではなく、この戦略では十分に対応できない状況が生じているといわざるを得ません。

道は、先ほど伺ったロシアによるウクライナ侵略や東アジアにおける中国と米国などとの政治的・経済的・軍事的な緊張の高まりといったグローバルリスクをどう分析し、どう認識しているのか、伺います。

(答弁：国際局長 酒井 隆)

- ・国際情勢の変化に機動的かつ柔軟に対応していくため、改定したグローバル戦略に基づき、『世界を視野に入れた力強い地域産業の確立』と『海外展開・交流におけるリスクマネジメント』を柱に各般の施策に取り組んでいる。

- ・食の輸出や観光振興、投資の促進などに取り組む本道は、海外の様々なリスクによる影響を受けやすいが、ロシアによるウクライナ侵略の長期化や東アジアを巡る情勢など、改定後も国際情勢は大きく変化しており、現在、輸出入や外国との往来のみならず、サプライチェーンの途絶による生産活動や物流の停滞、世界的な食料需給の問題や燃料・原材料価格の高騰など、道内経済や道民生活へも大きな影響が及んでおり、国際情勢の変化に対し、これまで以上に的確に対応していくことが重要と認識。

(四) 今後の対応について

道のグローバル戦略策定の趣旨によれば、『情報技術の革新や交通網の発達等に伴い、一つの地域の現象や取組が国境を越えて世界全体に影響を及ぼす、いわゆるグローバル化の流れが急速に進展している』との基本的認識を示し、『北海道が将来にわたり輝き続けていくために、『世界の中の北海道』として、的確かつ迅速な対応を進めていく』ことの重要性を指摘しています。

しかし、こうしたグローバル戦略の考え方と道が進めようとしているエネルギーの地産地消や食料自給率向上といった経済安全保障に沿った考え方とが戦

略全体とどのように関連してくるのか整合性ある形で説明することが求められます。

道は、このような状況を踏まえ、どのようにグローバル戦略や関連の施策を推進していく考えなのか、この戦略の見直しの可能性も含め、見解を伺います。

(答弁：総合政策部長 濱坂 真一)

- ・道では、感染症をはじめ、世界規模の様々なリスクの顕在化を踏まえ、グローバル戦略を改定し、関係者とグローバル・リスクに対する認識の共有を図りながら、海外との交流に取り組んできたが、ロシアによるウクライナ侵略や東アジアを巡る情勢など、国際情勢は大きく変化し、道内経済や道民生活への影響の拡大と長期化が懸念。
- ・道では、グローバル戦略の見直しも視野に直面する様々なリスクへの対応に重点を置いた取組を進め、海外展開に取り組む企業や支援団体とのネットワークの強化や迅速な情報共有などに取り組むことはもとより、燃料費や飼料等の高騰の影響を受ける事業者への支援、国際認証の導入促進やサプライチェーンの再編を重視した生産拠点の移転等の支援など、本道の力強い地域経済の確立等に取り組ん

でまいる。

【 指摘&知事総括 】

この件は、幅広い政策領域にわたる判断を要する課題ですので、改めて、知事の考えを伺いたいと思います。

委員長よろしくお取り計らい願います。